



ピアノ演奏のための基礎力 ～ポリフォニー音楽の解釈とその応用～

音楽作品を演奏する上で、最も重要な要素のひとつ
‘多声音楽 (ポリフォニー)’ について

音楽の基礎でもある‘ポリフォニー音楽’の代表的な作品「平均律」を題材として取り上げ
ロマン派の作品への応用について、具体的に演奏を交えてお話していただきます。

- 1) 美しい響きとは・・・**基音と倍音**
- 2) 美しい響きで演奏するための脱力・・・**虚脱と脱力の違い**
- 3) **なぜ脱力が必要なのか**・・・練習及び本番での影響
- 4) 調和した響きのために・・・‘**ハーモニーの器**’の存在
- 5) 滑らかなレガートとは・・・音と音ではなく、**響きと響きのつながり**

《参考曲目》

- ・J.S.バッハ:「平均律クラヴィーア曲集 第1巻」より 第1番 BWV.846、第6番 BWV.851
- ・ショパン:ノクターン第1番 Op.9-1

前日10月13日(火)の夜には
コンサートも開催♪
本セミナーと両方ご来場の方は
セミナー受講料が**500円引き**に!
ぜひ裏面もご覧ください。

講師：吉永 哲道 (よしながてつみち) 先生

1978年愛知県生まれ。4歳よりピアノを始め、ヤマハマスタークラス及び名古屋市立菊里高等音楽学校音楽科を経て、1998年9月よりモスクワ国立音学院へ留学。声楽伴奏法や室内楽も修め、2005年5月、同音楽院本科を卒業。成績優秀者として選抜され、モスクワ音楽院大ホールにて行われた卒業演奏会に出演。2008年10月、同音楽院大学院課程を修了。これまでに、故・ヴェラ・ゴルノスタエヴァ、ピャトラス・ゲニューシャス、ダリヤ・ペトローヴァ、マクシム・フィリッポフ、マルガリータ・クラフチェンコ、ニーナ・コーガン、江口文子、浦壁信二、國谷尊之、内藤江美、田中須美子、大野真嗣の各氏に師事。

音楽院在学中、ロシア、リトアニア、イタリア各地でソロ出演やオーケストラとの共演を重ねる。2008年2月、第一回シヨスタコーヴィチ国際室内楽・ピアノデュオコンクールにピアノトリオで出演し、ディプロマを受賞。また同年11月、第14回アンドラ国際ピアノコンクールにて第5位及び特別賞(スペイン人作曲家作品最優秀演奏賞)を受賞。現在、名古屋の宗次ホールに於ける定期的なりサイトをはじめとして各地で演奏を行い、常葉大学短期大学部音楽科非常勤講師、ヤマハマスタークラス講師として後進の指導にもあたっている。愛知ロシア音楽研究会会員。

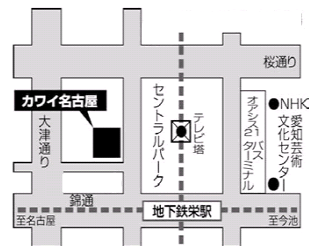
日時：2015年 **10月14日(水)** 10:00～12:30
会場：カワイ名古屋 2F コンサートサロン「ブルー」

受講料 カワイ講師・音研会 ￥2,500

会員(カワイスコアメンバー・PTNA・JPTA・ショパン協会・Miyoshi Net・ギロック協会) ￥3,000

一般 ￥3,500

学生(小・中・高・大学生) ￥1,000



地下鉄名城線・東山線「栄」駅 3番出口より、進行方向に徒歩1分♪左手のビルです。
(セントラルパーク10A出口目の前)

お問い合わせ・お申し込みは・・・

カワイ名古屋 Tel 052-962-3939 Fax 052-972-6427
〒460-0003 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル1F・2F

2015年10月14日(水) 10:00～12:30 吉永哲道 ピアノレクチャー2015 お申込み書

【Oをつけてください↓】(会員の方は当日、会場受付にて会員証をご提示ください)

学生 / カワイ講師・音研会 / 会員(カワイスコアメンバー・PTNA・JPTA・ショパン協会・Miyoshi Net・ギロック協会) / 一般

お名前

お電話番号 Fax番号

〒

ご住所